

近江鉄道線の上下分離における第二種鉄道事業者

土木交通・警察・企業常任委員会資料12-2
令和3年(2021年)7月9日
土木交通部関東地域公共交通支援室

近江鉄道沿線地域の将来像と第二種鉄道事業者への期待

<地域の将来像>

日本の持続的な発展の中心地としてのさらなる地位の向上

上記実現に向けて
目指すべき方向性

第二種鉄道事業者に対して期待する事項

①地域鉄道の安全・
安心な利用

地域鉄道は、通勤、通学、買い物、通院など、地域の移動を支える基幹交通軸であり、地域の人々が日々安心して利用するためには、鉄道事業者として安全運行に必要なノウハウや熟練した技術を持った人材を有していること。

②沿線地域交流人口の
拡大と駅周辺の
にぎわい創出

鉄道利用者が増加し、地域により一層のにぎわいが生まれるよう、沿線の住民、団体、自治体等と連携した利用促進の取組や、沿線事業所・学校等の利用者ニーズを踏まえたくま細かな鉄道サービスや利便性の向上に取り組むこと。

③地域鉄道を軸とし
た交通ネットワークの
充実強化

地域の基幹となる社会インフラを担う事業者として、地域の移動実態等に即した広域交通網であるJR線や新幹線および二次交通である路線バスやコミュニティバス等との連携改善およびネットワーク強化に取り組むこと。

④事業者と連携した
まちづくり

鉄道事業者を含む関連グループ企業が有する多様なサービスや資産等あらゆる資源を活用し、地域活性化に向けて意欲的に取り組むこと。

⑤持続的で安定的
な鉄道事業運営

現在、近江鉄道線の運行においては西武鉄道(株)から社員派遣や中古車両の提供などの支援を受けているように、将来に向けて持続的かつ安定的な鉄道事業運営に必要なさまざまな支援を受けられる体制を有していること。

第二種鉄道事業者は、上記の取組や体制の確保が期待できる事業者が望ましい